

新小ファミリー

校長 吉田 隆

文部科学省は「チーム学校」を提唱しています。今学校が直面する複雑化・多様化した問題を解決していくために、教員・専門職スタッフ・保護者・地域ボランティア等が連携していく重要性を示したものです。

新潟小学校では、学校職員だけでは到底実現することができない、特色ある総合学習や行事が行われています。それらを可能にしているのは、子どもたちの成長を支える理想的なチームが、すでに存在しているからです。

この「チーム新小」により、様々な単元学習の目的が達成できています。しかし、短期的な目標達成のみならず、新潟小の教育に関わる多くの皆様から子どもたちへの無償の愛情が注がれているのを私は感じます。その姿は、チームを越えた「新小ファミリー」と言ってもよいのかもしれませんが。

それを象徴するような場面が、先日の県・市小学校教育研究会の指定研究「全校ミュージカル」を発表する過程でも見られました。

ミュージカルの舞台では、大道具や小道具の制作が重要なポイントとなります。そこでお力を発揮していただいた方々がGTO（新潟小の教育を支え

る保護者・OB有志の会）でした。皆さんが休日返上で幾度も学校に通ってくださいました。大きなかぶや本物と違わぬリアルな御座船などがミュージカルの臨場感を高めてくれました。

また、全校ミュージカルでは、プロの演出家・音楽家の先生から演技指導、歌唱指導、作曲等をしていただきました。勿論、一定の指導料は発生しますが、しかし、それを遙かに超えた、丁寧で子どもたち一人一人の心に届くご指導を頂きました。

ミュージカル終了後のアンケートに、匿名で次の一文が寄せられました。

タンポポの花が明るく太陽の如く
咲くような新潟小の皆さんに、
ミュージカルでお会いできて拍手拍手。
そしてエールを送ります。将来、
新潟小で輝く姿が見えましたよ！

（地元市民より）

このような環境の中で学ぶことができる子どもたちは幸せです。大きな愛情に包まれて育った六年生が、三月二十日には新潟小を巣立っていきます。

世界のどこで活躍していても、「新小ファミリー」の一員として後輩の活躍を見守り続けてほしいと願っています。